

# 伸縮自在の冷却剤開発

## 三重化学工業、医療用に 岐阜メーカーの新素材使用 知事に報告

保冷剤の製造や販売を手掛ける松阪市大口町の「三重化学工業」は六日、医療用の冷却剤を開発したと発表した。岐阜県の会社が開発した新素材を活用し、柔らかい肌触りを実現。医療福祉分野での連携を進める三重、岐阜両県にとって、初の商品となった。同社の山川大輔社長(右)が同日、県庁で鈴木英敬知事に新商品の完成を報告した。

(海住真之)



新商品を鈴木知事(右)に紹介した山川社長(左)と山川大輔社長(右)に紹介した山川社長

商品名は「ぷるCUREアイスパック」。フィルムでゲルを覆った一般的な保冷剤と異なり、外装の柔らかさが特徴。両端を引っ張ると伸びるため、腕や首に巻いて密着させることもできる。

「冷却剤はフィット感がない」という医療関係者の声を受けて開発。岐阜県の素材メーカー「タナック」が開発した「クリスタルゲル」と呼ばれる素材を外装

に使い、三重化学工業が冷却剤の製造を担った。クリスタルゲルは、保冷剤の外装に使われる一般的なフィルムに比べて素材同士が接着しにくかった。このため、山川社長らは製造方法を試行錯誤。県工業研究所からアドバイスを受けて完成にこぎ着けた。

医療機器として認定を受け、主に病院で販売する。発熱時や炎症を起こした患部などへの使用を想定。東京オリンピックのアスリートなど、スポーツ業界で活用してもらうことも検討している。

この日、山川社長は「腕に巻いて注射すると痛みが

ないと、子どもたちに喜んでもらった」と、実際に使った病院の反応を紹介。「今後も人の手助けができ、商品を開発したい」と語った。

鈴木知事は「触り心地が全然違う。体にしっかりとフィットし、安心感がある」と絶賛。「若い世代が活躍していることをうれしく思う。これからも新たなチャレンジを続けてほしい」と激励した。

## 小学生に平和の大切さ訴え 紀北町 西村さん、戦争体験語る



【北牟婁郡】紀北町立三の西村専司さん(八四)同町浦小学校で六日、平和学習三浦川が全校児童十四人を前に戦時中の体験を語り、平和の大切さを訴えた。

西村さんは十二人家族で育ち、配給された米一台とヒシキやカボチャを鍋に入れて、おかゆにして分け合ったこと、国民学校の運動場を畑にして麦を植えた体験

一戦必勝で校歌を歌いたい」と話し、佐川監督は「チームの状態は第二試合で、静岡県代表の静岡高校と対戦させて頑張りたい」と活躍を誓った。

同校野球部は七日の第二試合で、静岡県代表の静岡高校と対戦させて頑張りたい」と活躍を誓った。

## 大阪・兵庫三重県人会 田学園野球部を激励



大阪三重県人会(村田吉優会長)と兵庫三重県人会(和手甚京会長)は五日夕、第百一回全国高校野球選手権大会に県代表として出場する津田学園を激励しようと同校が宿泊する伊丹シティホテルを訪れ、佐川竜朗監督や竹内啓郎長、山川史明

# 台風、九州